Thirty years' history

1970～1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1996	1998	1999	2000	2001	2002	2003
昭和45年～54年	昭和55年	昭和56年	昭和57年	昭和58年	昭和59年	昭和60年	昭和61年	昭和62年	昭和58年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成8年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年

矢矧コンサルタント(株)の沿革とコンサルティングテーマならびに主要ノウハウ

★矢矧コンサルタント創業 (昭和47年)
☒この年に日本タイムシェア(株)コンサルティング
☒事業部を設置 (矢矧コンサルタントの前身)

★☒業構造アニュアル・レポート発刊
☒(昭和49年)

★矢矧コンサルタント(株)設立
（昭和55年）

★『テクノ・オフィス
(戦略ディシジョン・ルーム)』開設

★『月刊YCニューズ・レター』発行

★国際展開を目指し、
☒ニューオータニ・
☒ビジネス・コートへ移転

★「経営戦略計画アンケート」
第1回調査実施(その後の継続的実施)

★米国支社の設立(ニューヨーク)

★戦略経営協会とのアライアンス形成

★☒社長就任

★☒米合同経営
☒トップセミナー開催

★経営賞アンゾフ・アワード設定

★☒ートナージャパン
☒との業務提携

◆☒経平均株価が
☒バブル後最安値を更新。

主要コンサルティング・テーマ

- 戦略的CIの確立
- ビジョン型経営戦略の策定（21世紀企業ビジョンづくり）
- 事業構造改革戦略の策定
- 企業価値創出経営
- 企業グループ戦略
- グループ連結経営

経営戦略・計画・管理の立案と評価 → 戦略的経営の策定と実行 → 企業革新戦略の策定と実行 → 経営グローバル化戦略 → グループ連結経営

- 新規事業戦略の策定と実行
- 「企業体質の改善・改革」（マネジメント業務の改善・改革）
- 戦略研修（トップ、管理職）
- トップ・マネジメント改革
- エンジニアリング・マネジメントの構築
- 意識と行動改革
- 経営者の育成とマインド改革
- 実践的経営戦略の実行（技術提携、Ｍ＆Ａ等の推進）
- 戦略的経営意思決定の実行（戦略コントロール）
- 事業性の戦略的評価とコントロール
- グループ連結経営／持ち株会社
- 企業変革と再生
- 総合マネジメント・システムの構築（「経営」プラス「コンピュータ・システム」）
- 戦略の実践とそのフォローアップ「戦略の現場化／現場の戦略化」（戦略モニタリング＆コントロール）

経営コンサルティング・ノウハウ

- 戦略的CIコンセプト
- 企業ビジョンと成長戦略
- 企業グループ戦略
- コア・コンピタンス
- バリューチェーン型ビジネスモデル
- サプライチェーンマネジメント
- 戦略とプロセスとITの三位一体改革

経営戦略・計画・管理策定ノウハウの確立 → 経営戦略の体系化（ＹＳ法応用） → 戦略的経営の理論と実践 → 企業革新戦略と実践 → 経営グローバル化戦略 → 企業成長の構図化と成長サイクル（最適融合経営）

- ・ＲＥＳＰＯＮＳＥ（戦略策定用ツール）
- ・ＳＩＭＰＬＥ（計画立案用ツール）
- ・ＭＡＴＥ（戦略管理ツール）

- 質的評価選択法
- 経営効率向上戦略（ＥＰＭ）
- 事業探索のための抽象化・具体化分析
- 製品・技術・市場クロス・マトリックス分析
- 新製品開発のための戦略的再定義法
- 企業ビジョンマップ／シナリオ
- 戦略的組織開発
- 脱TQCのための企業体質改革（ＣＯＳＭＩＳ）
- 総合個別戦略ギャップ解消
- 経営の質の判定☒（12の角度）
- 戦略コントロール
- 経営資源投入・成果戦略（ＩＯＭ）
- 戦略的デシジョンルール
- 戦略診断
- 事業性分析評価
- 戦略調査
- 4つの構造改革
  A) 企業構造　B) 事業構造　C) コスト構造　D) 経営構造
- コーポレート・プランニング
- 戦略の現場化と現場の戦略化
- 戦略モニタリング＆コントロール・マネジメント
- グループ経営／持ち株会社
- EVA経営(ドライバー)と戦略経営(ドライバー)
- 企業再編/会社分割／MBO、MBI
- ファンド＆インキュベーション／ベンチャー創出・育成
- デュー・ディリジェンス
- 戦略的再生・再建スキーム
- 経営とITの統合／ITガバナンス・IT戦略

経営意思決定システム（ＹＳ法）